

科名 婦人科 婦一31(a)
 対象疾患名 卵巣癌(再発)
 プロトコール名 GEM+CBDCA(a)

Rp	形態	ルート	薬剤名	投与量	コメント	1	...	8	...	21
1	点滴注	メイン	生理食塩液	250mL	ルートキープ	↓		↓		
2	点滴注	側管	グラニセトロンバッグ デキサート注 又は 側管 パロノセトロンバッグ デキサート注	1mg 9.9mg 0.75mg 9.9mg	30分かけて 30分かけて	↓		↓		
3	点滴注	側管	ゲムシタビン 5%ブドウ糖	800,1000mg/m ² 100mL	必ず30分かけて	↓				
4	点滴注	側管	カルボプラチン注 生理食塩液	AUC4 250mL	1時間かけて	↓				
5	点滴注	側管	デキサート注 生理食塩液	6.6mg 100mL	30分かけて			↓		
6	点滴注	側管	ゲムシタビン 5%ブドウ糖	400,500,800,1000mg/m ² 100mL	必ず30分かけて			↓		

★1クール=21日

～MEMO～

- ・ 催吐レベル3(30～90%)
- ・ 卵巣癌術後補助化学療法、再発時化学療法として施行
- ・ 1コース=21日で、次コース開始基準は好中球数1500/mm³以上、血小板数10万/mm³以上
- ・ day8投与基準は、好中球数1000－1500未満、血小板数7.5万－10万未満の時は、GEMをday1投与量の50%へdown。
また、好中球数1000/未満or血小板数7.5万未満の時は、day8はskip。
- ・ GFRの計算法は、Jelliffe式を用いる。
- ・ day2～4にデカドロン1回4mgを1日2回朝、昼食後に内服(8mg/day)。
〈ゲムシタビン〉
ゲムシタビンは必ず30分で投与(副作用増強防止のため)
禁忌:間質性肺炎、肺線維症のある患者、胸部への放射線療法との併用
血管痛の対処方法:
①静脈炎・血管痛を予防するために以下のことを考慮し、点滴の針を刺す。
・ 血流の良い太い血管をできるだけ使用する。
・ 毎回、できるだけ穿刺部位を変える。
・ 長く留置していた静脈、過去に静脈炎を起こした血管は避ける。
②点滴中は、以下のことを考慮し、投与する。
・ 点滴の入っている腕を予め加温し、血管を温めて広げ、血流を良くする。
・ メインの生理食塩水の投与量を増やし、より希釈しながら投与する。